## 全鉄連流通動態調查結果表平成20年6月分

(20.7.24)

全国鉄鋼販売業連合会

		種		地	前月在	庫 量	仕 入	れ 量	販 売	星	月末在	庫量
I	品	<b>个</b> 组		区	5月実績	前月比%	6月実績	前月比%	6月実績	前月比%	6月実績	前月比%
		棒	鋼	東京	33,034	100.1	80,276	101.6	79,883	101.1	33, 427	101.2
異	形			大 阪	13,905	99.9	28,823	101.0	29,675	103.9	13,053	93.9
				愛 知	8,928	101.7	7,525	120.6	7, 257	119.2	9,196	103.0
				計	55, 867	100.3	116,624	102.5	116,815	102.8	55,676	99.7
形鋼	Ш	形	鋼	東京	26,661	108.5	10,712	82.3	10,509	96.1	26,864	100.8
				大 阪	14,763	101.2	10,643	96.7	10,392	96.0	15,014	101.7
				愛 知	14,740	100.5	8,662	113.5	8,207	108.7	15,195	103.1
		·		計	56, 164	104.3	30,017	94.8	29,108	99.3	57,073	101.6
	溝	形	鐲	東京	13,915	106.1	8,445	102.7	7,929	106.9	14,431	103.7
				大 阪	10, 135	113.4	9,312	92.9	8,880	100.5	10,567	104.3
				愛知	7,949	117.8	5,071	83.5	5,279	108.4	7,741	97.4
				計	31,999	111.1	22,828	93.9	22,088	104.6	32,739	102.3
		形	鋼	東京	36, 285	104.1	29, 142	90. 1.	28,717	93.0	36,710	101.2
	Н			大 阪	28,838	108.1	46,789	111.3	39,009	97.8	36,618	127.0
	**			愛知	20,089	106.6	16,415	100.1	15,504	102.3	21,000	104.5
				計	85, 212	106.0	92,346	101.7	83,230	96.8	94,328	110.7
		ŕ	5 6	†	173, 375	106.4	145, 191	98.9	134,426	98.6	184,140	106.2
				東京	12,621	94.5	4,133	125.5	4,939	122.7	11,815	93.6
コラム				大 阪	9,758	93.8	3,554	86.0	2,557	53.5	10,755	110.2
				愛知	5,528	106.7	4, 137	121.2	4, 182	136.4	5,483	99.2
				計	27, 907	96.4	11,824	109.1	11,678	98.4	28,053	100.5
				東京	6, 381	103.6	3,216	94.0	3,356	104.8	6,241	97.8
軽	量 (	C 形鋼		大 阪	3,802	101.1	2,722	110.1	2,367	97.3	4,157	109.3
'-	-x= \			愛知	3, 280	103.9	1,224	98.9	1,100	98.7	3, 404	103.8
				計	13, 463	103.0	7,162	100.4	6,823	101.1	13,802	102.5
	¥	念		計	270,612	103.8	280,801	100.8	269,742	100.4	281,671	104.1

## (注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 39 、大阪 28 、愛知 15 、合計 82社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のほか、調査対象会社および全鉄連傘下各地区団体の代表者・事務局長のみに配付しております。

## [調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。